



## 6.6 海藻草類

調査期間中の護岸工事及び埋立工事が未実施であるため、本調査結果は護岸工事及び埋立工事実施後の事後調査結果と比較検討を行うための「工事前」の調査結果とします。

### 6.6.1 海藻草類の生育被度、生育状況

#### (1) ライン調査

各調査測線における海草藻場及びホンダワラ藻場の被度の状況を図-6.6.1.1に示します。海草藻場がまとまってみられた場所は、ギミ崎東側及び辺野古地先のリーフ内であり、安部の湾内、大浦湾奥部、松田から久志地先においても海草藻場の分布が確認されました。また、ホンダワラ藻場がまとまってみられた場所は、嘉陽地先や安部の湾内、辺野古崎周辺から久志地先にかけてのリーフエッジ周辺でした。

出現種は表-6.6.1.1に示すとおりであり、ライン調査では14種類の海藻草類が確認されました。

#### (2) スポット調査

各スポット調査地点における海草藻場及びホンダワラ藻場の被度の状況を図-6.6.1.2に示します。海草藻場はライン調査と同様に、嘉陽のギミ崎東側、安部の湾内、大浦湾奥部及び辺野古地先から潟原地先にかけてのリーフ内でみられました。また、ホンダワラ藻場は嘉陽の集落前面や東側、大浦湾内、辺野古崎周辺から西側の久志地先のリーフ内からリーフエッジ周辺においてみられました。

出現種は表-6.6.1.1に示すとおりであり、スポット調査では163種類の海藻草類が確認されました。

#### (3) 海藻草類の分布状況

ライン調査及びスポット調査の結果に基づいて、海草藻場及びホンダワラ藻場の被度が比較的高い範囲を整理した結果を図-6.6.1.3及び図-6.6.1.4に示します。

海草藻場の主な分布域は嘉陽のギミ崎東側、安部の湾内、辺野古崎から西側の久志地先にかけてのリーフ内、ホンダワラ藻場の主な分布域は嘉陽地先から安部地先にかけてのリーフエッジ周辺や辺野古崎から西側の久志地先にかけてのリーフエッジ周辺でした。



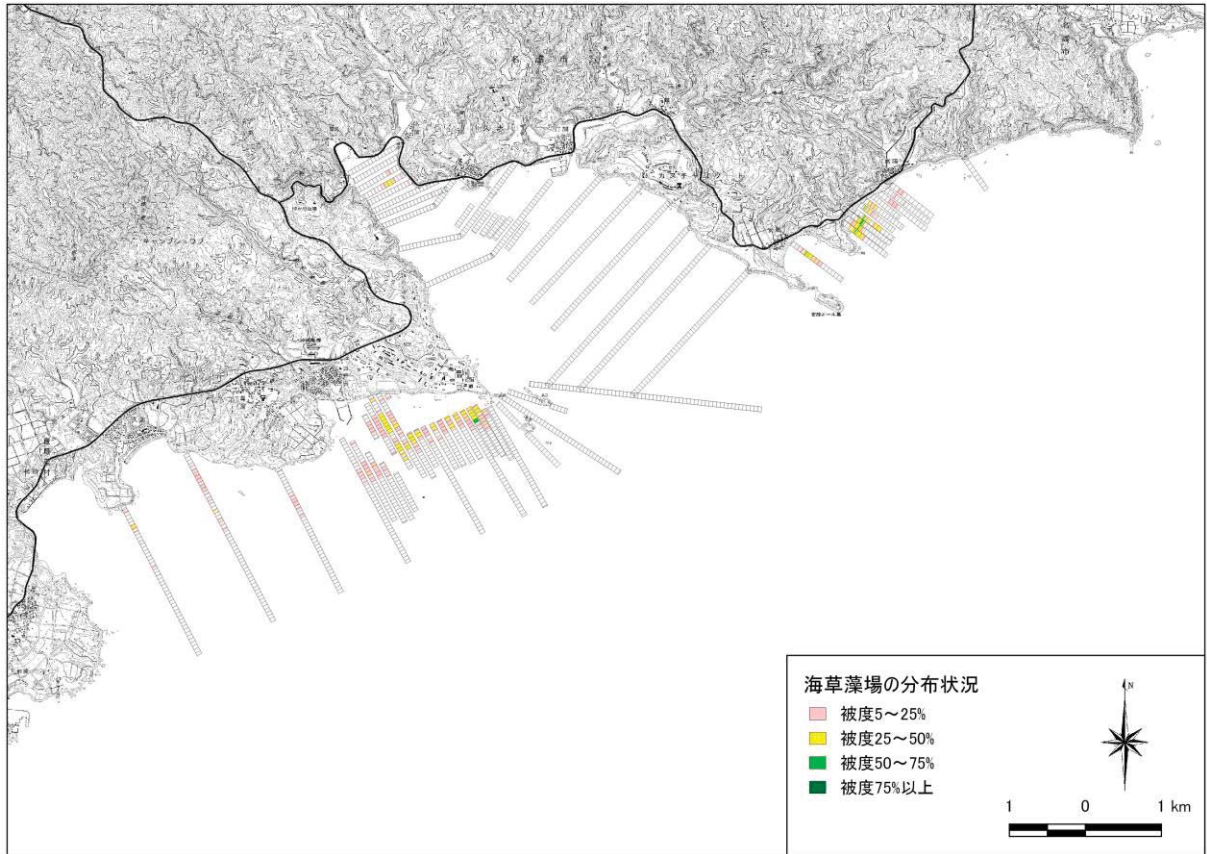


図-6.6.1.1(1) 各調査測線における海藻草類の被度の状況（海草藻場）

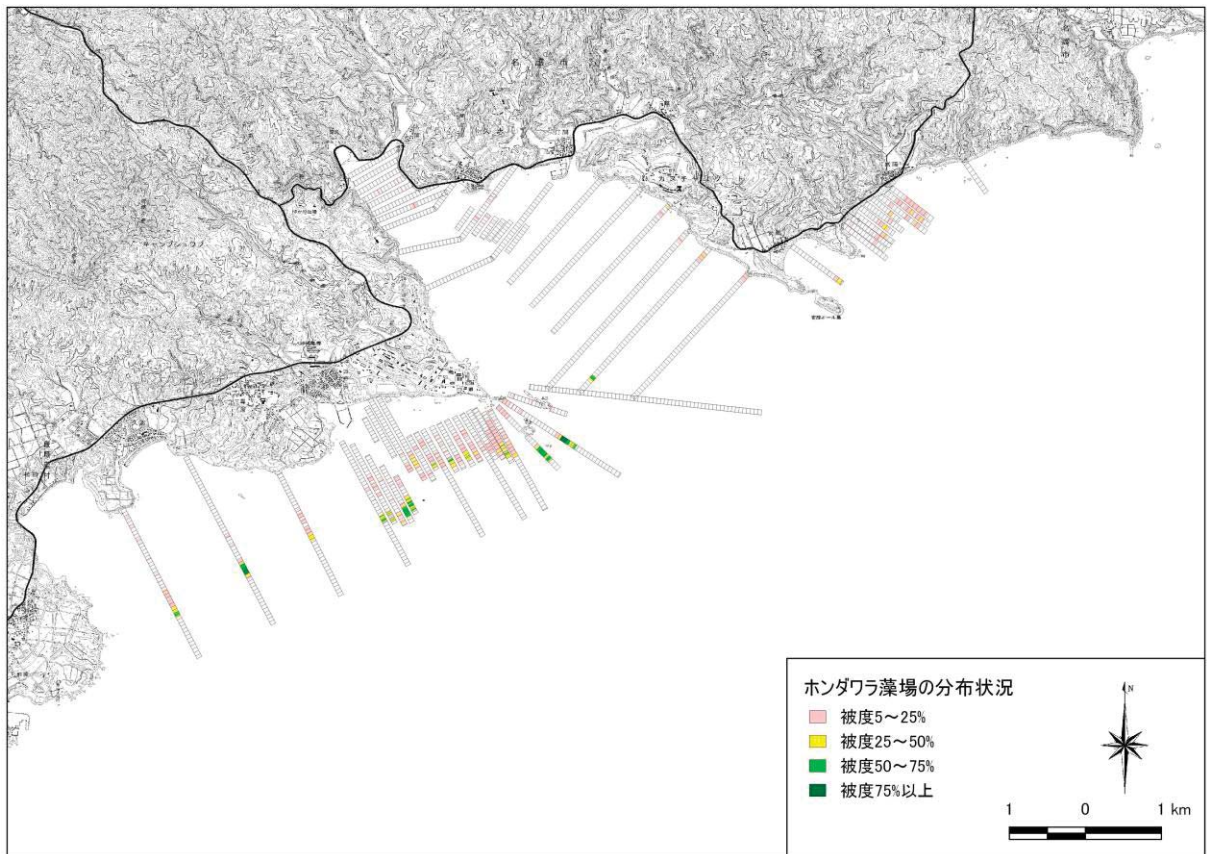


図-6.6.1.1(2) 各調査測線における海藻草類の被度の状況（ホンダワラ藻場）

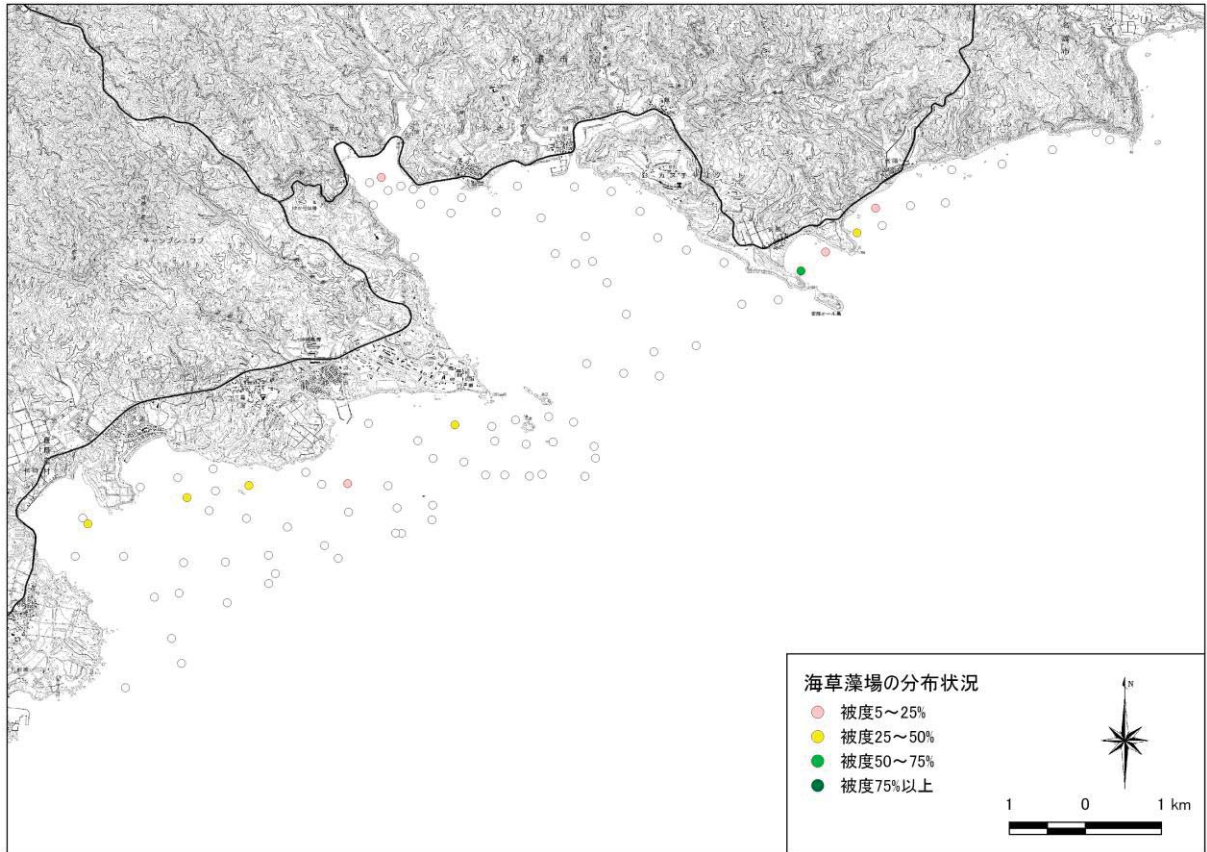


図-6.6.1.2(1) 各スポット調査地点における海藻草類の被度の状況（海草藻場）

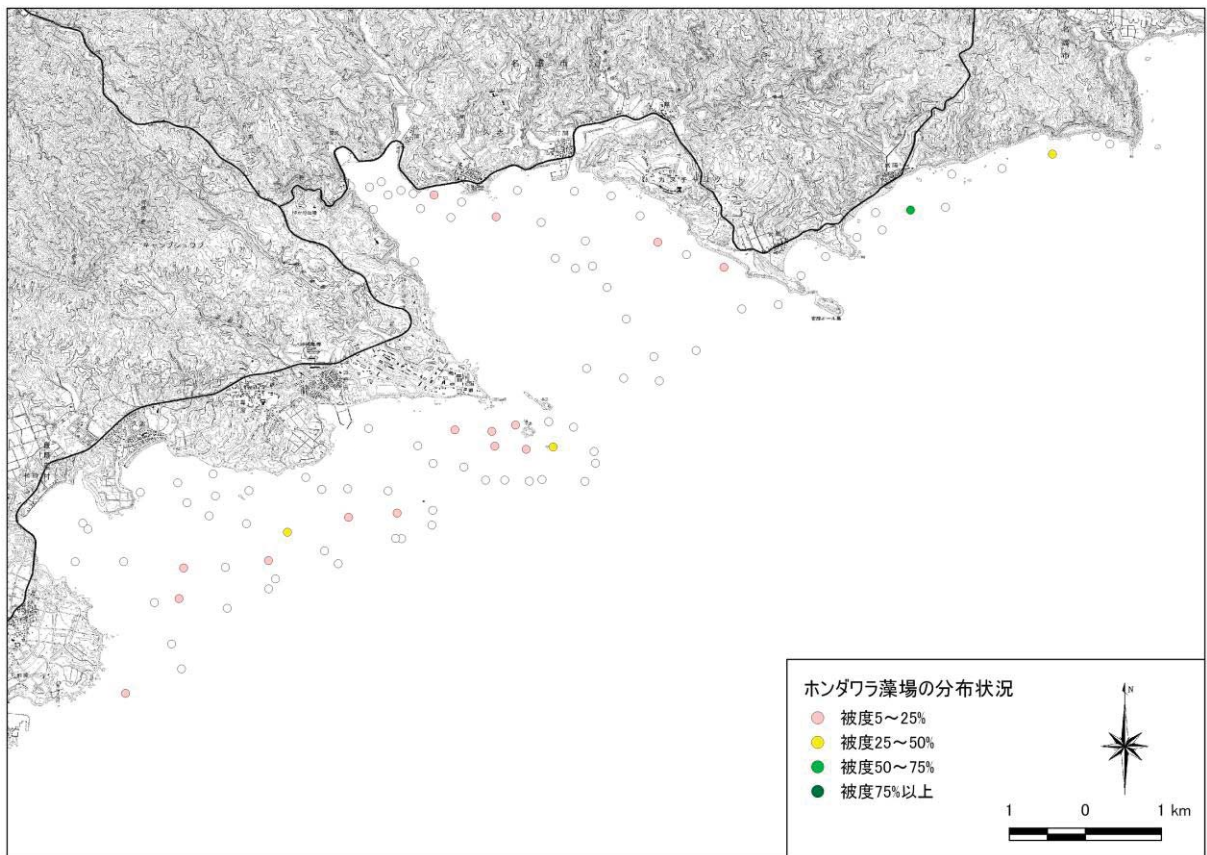


図-6.6.1.2(2) 各スポット調査地点における海藻草類の被度の状況(ホンダワラ藻場)



表-6. 6. 1. 1 ライン調査及びスポット調査における海藻草類の出現種

No.	門	綱	目	科	種名	ライン調査	スポット調査	No.	門	綱	目	科	種名	ライン調査	スポット調査
1	藍色植物門	藍藻綱	ユレモ目	ユレモ科	クダモ属		○	85	不等毛植物門	褐藻綱	ヒバマタ目	ホンダワラ科	アツバモク		○
2			-	-	藍藻綱		○	86					ヒメハモク		○
3	紅色植物門	紅藻綱	ウミノメ目	ガラガラ科	ソデガラミ		○	87					コバモク		○
4					ヒラガラガラ属		○	88					タマキレバモク		○
5					ヒロウドガラガラ属		○	89					キシウモク		○
6					ガラガラ		○	90					ホンダワラ属		○
7				コナハダ科	コナハダモドキ属		○	91					ラツバモク		○
8					コナハダ属		○	92	綠色植物門	緑藻綱	アオサ目	アオサ科	アオサ属		○
9					スルハダ属		○	93			シオグサ目	ウキオリソウ科	ウキオリソウ		○
10			サンゴモ目	サンゴモ科	ハイカニノテ		○	94					アミモヨウ		○
11					ホソエダカニノテ		○	95					タノモクサ		○
12					イソハリ		○	96				シオグサ科	ジュズモ属		○
13					カニノテ属		○	97					カビシオグサ		○
14					ハネヒメシコロ		○	98					シオグサ属		○
15					モサズキ属		○	99	ミドリゲ目	アオモグサ科	アオモグサ				○
16					モルッカイシモ		○	100		マガタマモ科	マガタマモ				○
17					イシノハナ		○	101					ミドリゲ		○
18				ハバリデウム科	サビ重科(無節サンゴモ類)		○	102					キツネノオ		○
19			テングサ目	テングサ科	シマテングサ		○	103					ミドリゲ属		○
20					テングサ属		○	104					クダネシグサ属		○
21					オバクサ属		○	105				バロニア科	キッコウグサ		○
22					テングサ科		○	106					ムクキッコウグサ		○
23			カギケリ目	カギケリ科	カギケリ		○	107					タマバロニア		○
24			スピリ目	ムカデリ科	ムカデリ科		○	108					バロニア属		○
25				イバラリ科	コケイバラ		○	109					オオバロニア		○
26					イバラリ属		○	110	イワズタ目	イワズタ科	ヘライワズタ				○
27				ヒカゲノハ科	ユルシギヌ属		○	111					ピヤクシズタ		○
28				イワノカワ科	イワノカワ科		○	112					ヒメノダズタ		○
29				ユカリ科	ユカリ		○	113					クビレズタ		○
30				サミノハナ科	ホノバナミノハナ		○	114					センナリズタ		○
31				アツバリ科	ミアナグサ		○	115					タカツキズタ		○
32			オゴリ目	オゴリ科	ユミガタオゴリ		○	116					ヨレズタ		○
33					フシクレリ		○	117					タカノハズタ		○
34					オゴリ属		○	118					キザミズタ		○
35			マサゴシハリ目	ワツナギソウ科	ワツナギソウ		○	119					イチイズタ		○
36					ワツナギソウ属		○	120					コケイワズタ		○
37				フツツナギ科	カイメソウ		○	121					リュウキュウズタ		○
38					テングサモドキ		○	122					イワズタ属		○
39					テングサモドキ属		○	123					ヒメイワズタ		○
40				マサゴシハリ科	アツカワハナノエダ		○	124				ハゴロモ科	クサビガタハウチワ		○
41					ニセイバラリ		○	125					コテングノハウチワ		○
42			イギス目	イギス科	イギス属		○	126					マルバハウチワ		○
43					ヨツノサデ属		○	127					ハウチワ属		○
44					ワアゲグサ		○	128					マユハキモ		○
45					ランゲリア		○	129					ウチワサボテングサ		○
46					イギス科		○	130					ミツデサボテングサ		○
47					ダシア属		○	131					ヒロハサボテングサ		○
48					ダシア科		○	132					サボテングサ		○
49				コノハリ科	ベニハウチワ		○	133					フササボテングサ		○
50					コノハリ科		○	134					サボテングサ属		○
51				フジマツモ科	トゲリ		○	135					ニセハウチワ属		○
52					キクヒオドシ		○	136					ヒメイトヨウ		○
53					キナギリ属		○	137					ハゴロモ		○
54					マクリ		○	138	ミル目	ミル科	ナンパンハイミル				○
55					ナンカイソウ		○	139					ネザシミル		○
56					ソウ属		○	140					モツレミル		○
57					ジャバラリ		○	141					ヤセガタモツレミル		○
58					イトグサ属		○	142					ミル属		○
59					イトグササ		○	143	ハネモ目	ハネモ科	カタハノハネモ				○
60					フジマツモ科		○	144					ハネモ属		○
61	不等毛植物門	珪藻綱	-	-	珪藻綱		○	145					ハネモ科		○
62		褐藻綱	シオミドロ目	シオミドロ科	シオミドロ科		○	146					ツクノイト科	ツクノイト属	○
63				イソガラ科	イソガラ科		○	147	カサリ目	ダシクラズ科	ナガミズタ				○
64				クロガシラ科	クロガシラ属		○	148					ミスタマ		○
65				アマジグサ科	ウラボシヤハズ		○	149					ウスガサネ		○
66					シロヤハズ		○	150					フデノホ		○
67					ヤハズグサ属		○	151				カサリ科	ホソエガサ		○
68					ハイアマジグサ		○	152					リュウキュウガサ		○
69					イトアマジ		○	153					カサリ		○
70					アマジグサ属		○	154					ヒナカサリ		○
71					ハイオオギ		○	155					イソギナ		○
72					ハイオオギ属		○	156	種子植物門	単子葉植物綱	オモダカ目	トチカガミ科	リュウキュウスガモ		○
73					ウスバウミウチワ		○	157					ウミヒルモ		○
74					コガネウミウチワ		○	158					オオウミヒルモ		○
75					ウミウチワ属		○	159					ホソウミヒルモ		○
76					ジガミグサ		○	160					トゲウミヒルモ		○
77					エツキシマオオギ		○	161					ウミヒルモ属		○
78			ナガマツモ目	ナガマツモ科	オキナワモズク		○	162				ベニアマモ科	ニラウミジグサ		○
79					イシモズク		○	163					ウミジグサ属		○
80			カヤモリ目	カヤモリ科	フクロリ		○	164					ベニアマモ		○
81					カゴメリ		○	165					リュウキュウアマモ		○
82					ホノカゴメリ		○	166					シオニラ(ボクバアマモ)		○
83					モサクダフクロ		○	167					ボウバアマモ		○
84			ヒバマタ目	ホンダワラ科	ヤバネモク		○								
出現種類数														14	163

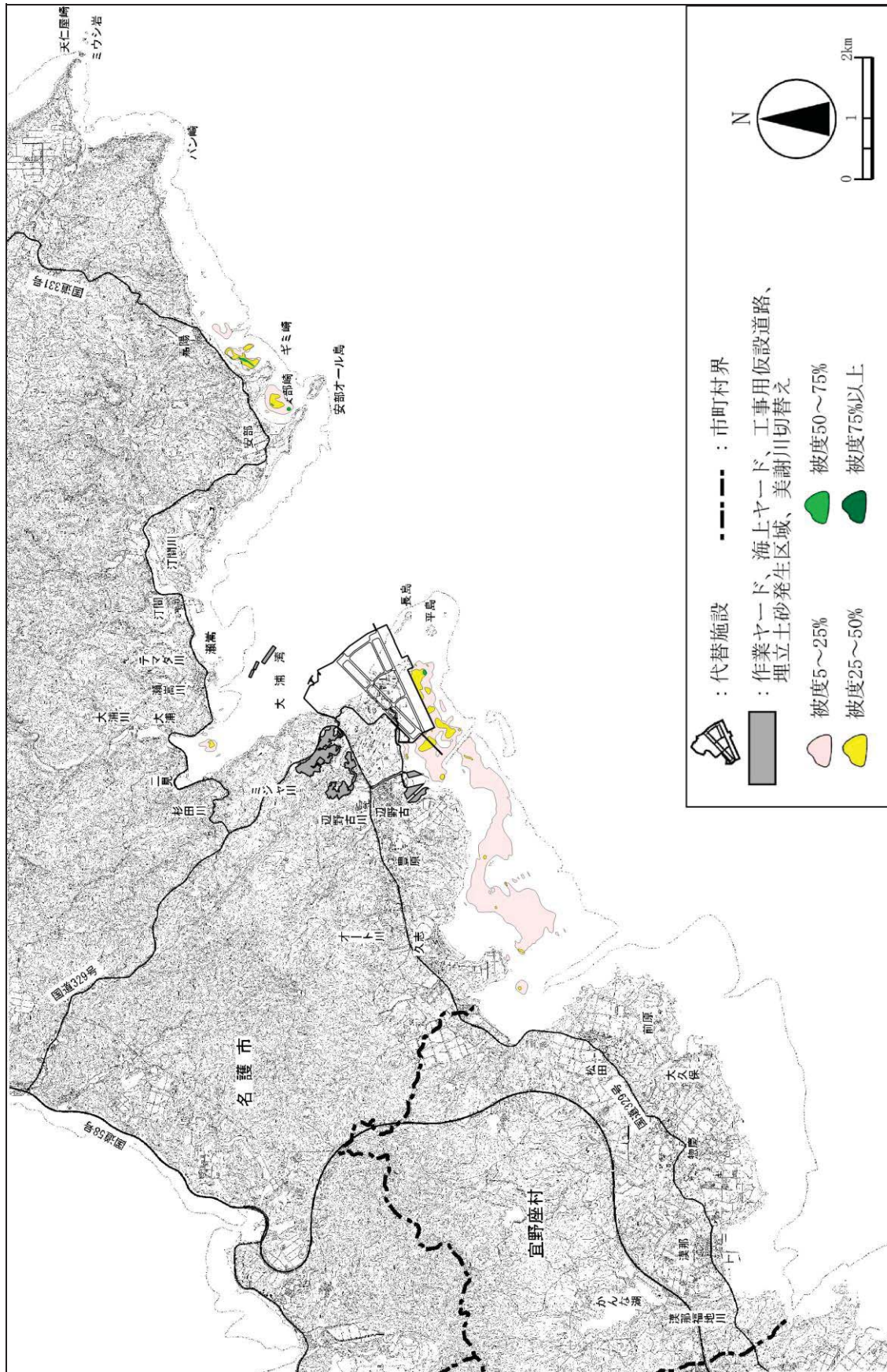


図-6.6.1.3 海藻藻場の分布状況（平成28年度冬季）





## 6.7 ジュゴン

### 6.7.1 ジュゴンの工事海域への来遊（接近）状況

#### (1) ヘリコプターからの監視

ヘリコプターによるジュゴンの工事海域への来遊（接近）状況を表-6.7.1.1に示します。

平成29年2～3月のヘリコプターからの監視において、大浦湾及び辺野古海域においてジュゴンは確認されませんでした。

表-6.7.1.1 ヘリコプターからの監視におけるジュゴンの確認状況

調査実施日		大浦湾	辺野古沖
平成29年 2月27日	午前	—	—
	午後	—	—
平成29年 2月28日	午前	—	—
	午後	—	—
平成29年 3月9日	午前	—	—
	午後	—	—
平成29年 3月16日	午前	—	—
	午後	—	—
平成29年 3月22日	午前	—	—
	午後	—	—
平成29年 3月28日	午前	—	—
	午後	—	—

#### (2) 監視プラットフォームによる監視

監視プラットフォームによるジュゴンの工事海域への来遊（接近）状況を表-6.7.1.2に示します。

平成29年1～3月の監視プラットフォームによる監視において、ジュゴンは確認されませんでした。

表-6.7.1.2 監視プラットフォームによる監視におけるジュゴンの確認状況

調査実施月	確認状況	備考
平成29年1月	確認なし	
平成29年2月	確認なし	
平成29年3月	確認なし	



## 6.7.2 嘉陽周辺海域及び他の生息海域におけるジュゴンの生息状況

### (1) 嘉陽周辺海域における海草藻場の利用状況

ジュゴンの海草藻場の利用状況に係る調査結果として、マンタ法による食跡及び浮泥の確認状況を表-6.7.2.1に示します。

嘉陽地先では、調査時期を通じて26～71本の食跡が確認されました。各調査時期における食跡の確認位置は図-6.7.2.1に示すとおりで、ギミ崎の東側にあたる嘉陽集落の西側から東側にかけての海域で広く確認されました。

表-6.7.2.1 嘉陽周辺海域における海草藻場の利用状況に係る調査結果

調査方法：マンタ法による潜水目視観察

調査地区	項目	平成 29 年		
		1 月	2 月	3 月
嘉陽地先	調査時期	18、19 日	13、14、15 日	16、17、18 日
	食跡	26 本	48 本	71 本
	浮泥	—	—	—
安部地先	調査時期	20 日	13 日	16 日
	食跡	—	—	—
	浮泥	—	—	—

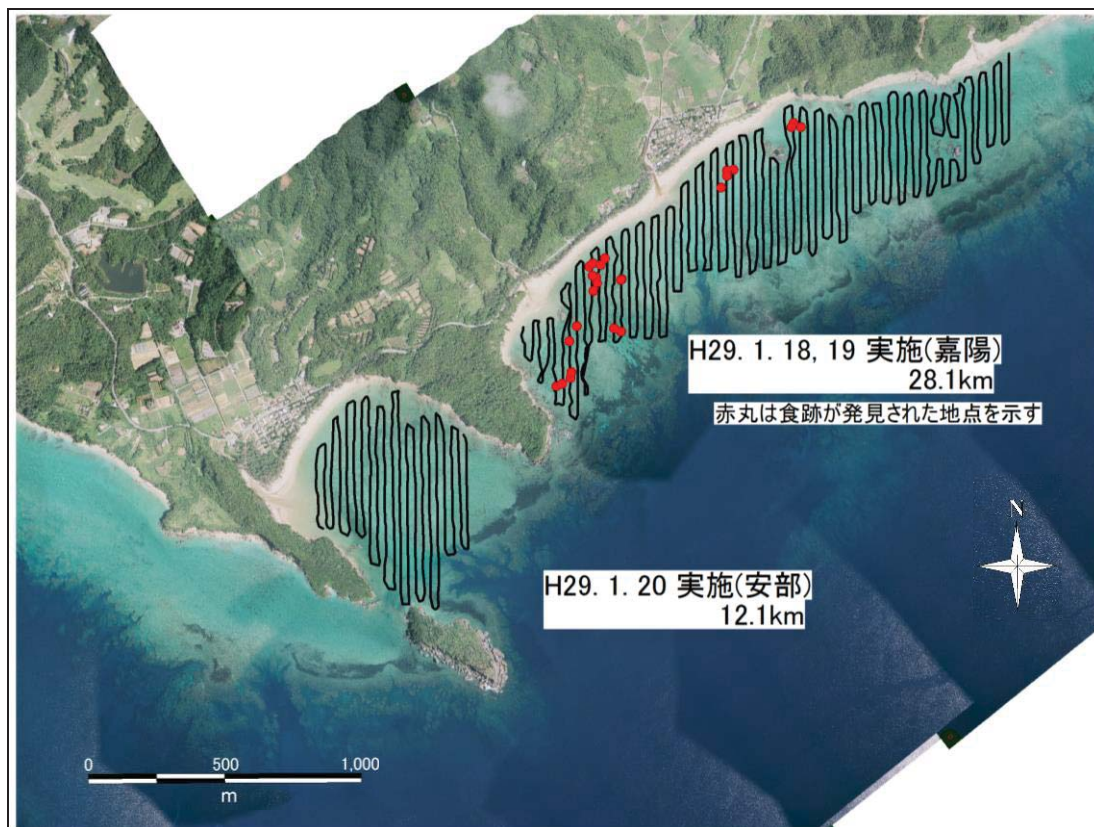


図-6.7.2.1(1) マンタ調査の航跡と食跡確認位置図（平成29年1月）

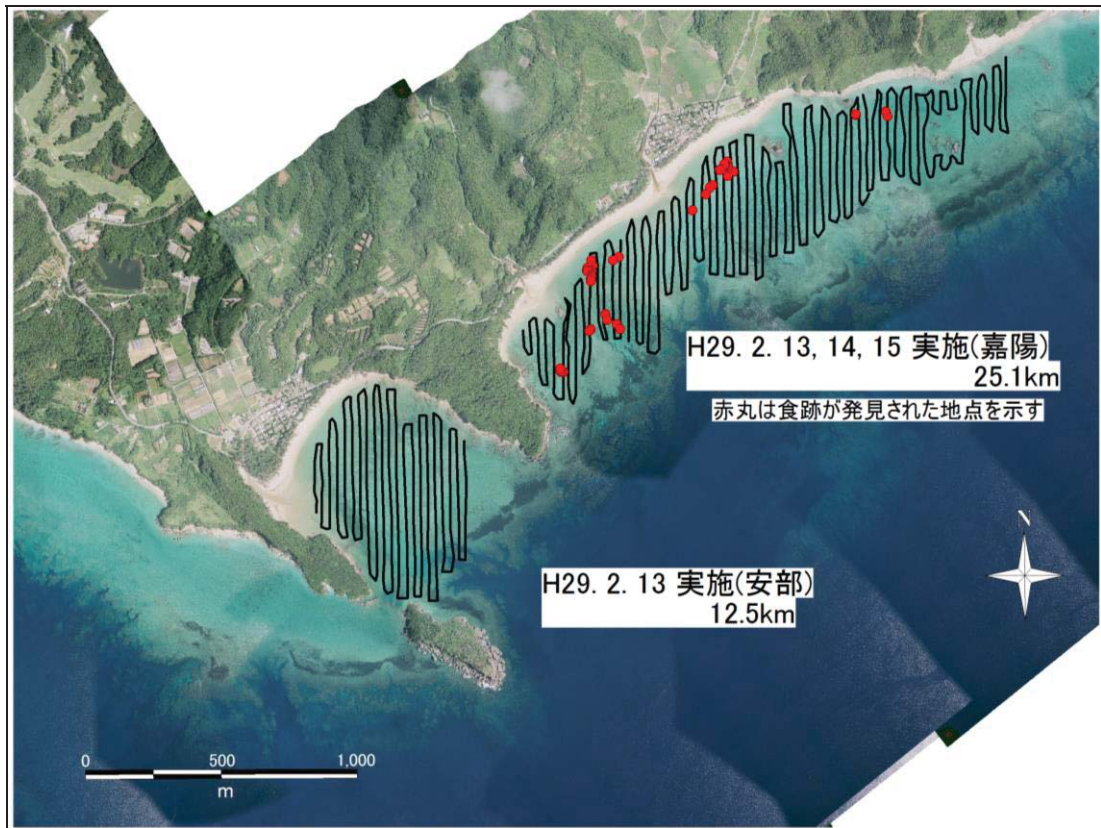


図-6.7.2.1(2) マンタ調査の航跡と食跡確認位置図 (平成 29 年 2 月)

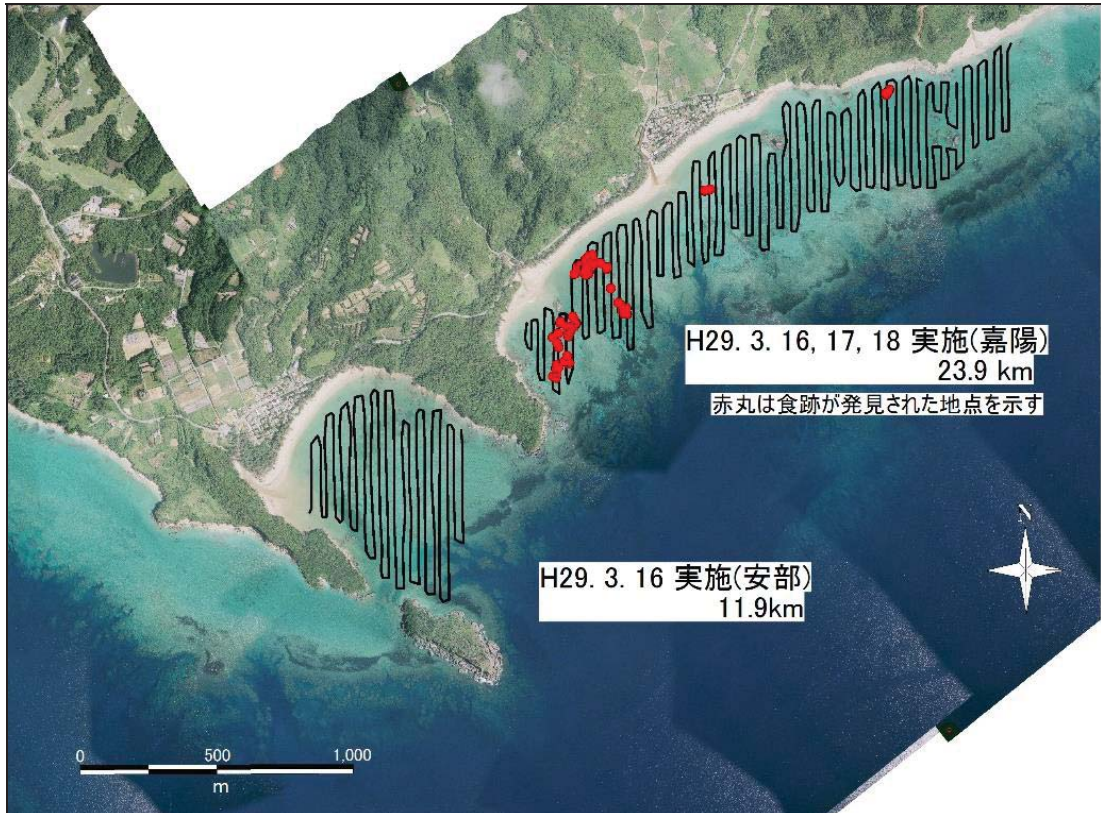


図-6.7.2.1(3) マンタ調査の航跡と食跡確認位置図 (平成 29 年 3 月)



## (2) 生息海域における生息状況

### 1) ヘリコプターからの監視

ヘリコプターからの監視によるジュゴンの確認状況を表-6.7.2.2、図-6.7.2.2に示します。

ジュゴンは、嘉陽沖では3月に4回（延べ4頭）確認され、個体識別の結果、全てA個体でした。確認された場所はどれもバン崎の南東から南西約2kmの海域でした。

古宇利島沖では、2月に1回（延べ1頭）、3月に2回（延べ2頭）確認され、全てB個体でした。確認された場所は古宇利島の西から南東約3～5kmの海域でした。

表-6.7.2.2 ヘリコプターからの監視におけるジュゴンの確認状況

調査実施日		嘉陽沖	古宇利島沖
平成29年 2月27日	午前	—	—
	午後	—	個体B
平成29年 2月28日	午前	—	—
	午後	—	—
平成29年 3月9日	午前	—	—
	午後	—	—
平成29年 3月16日	午前	個体A	—
	午後	個体A	—
平成29年 3月22日	午前	個体A	個体B
	午後	個体A	個体B
平成29年 3月28日	午前	—	—
	午後	—	—

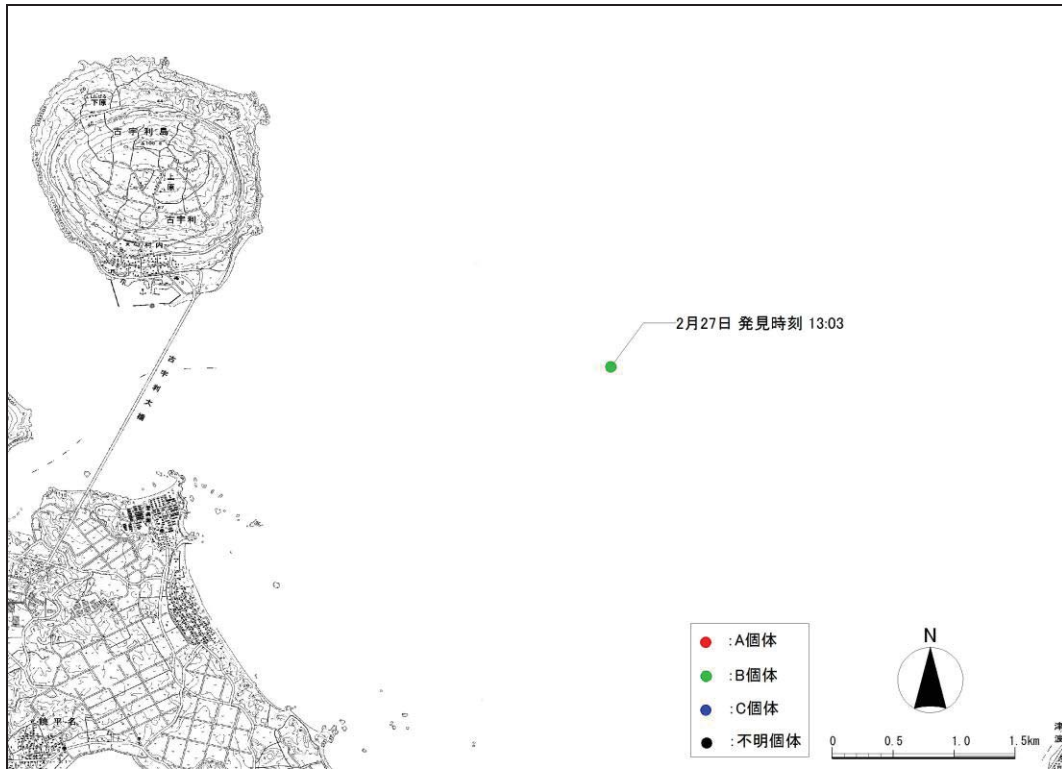


図-6.7.2.2(1) ヘリコプターからの監視におけるジュゴン確認位置図  
(平成 29 年 2 月 古宇利島沖)

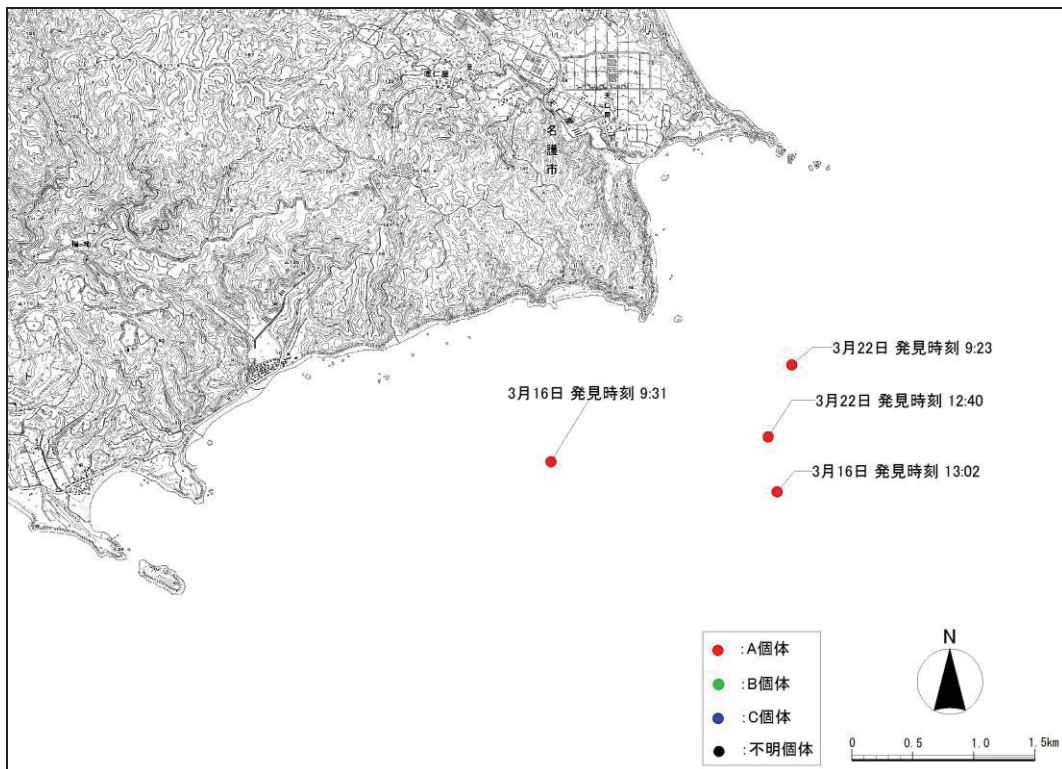


図-6.7.2.2(2) ヘリコプターからの監視におけるジュゴン確認位置図  
(平成 29 年 3 月 嘉陽沖)



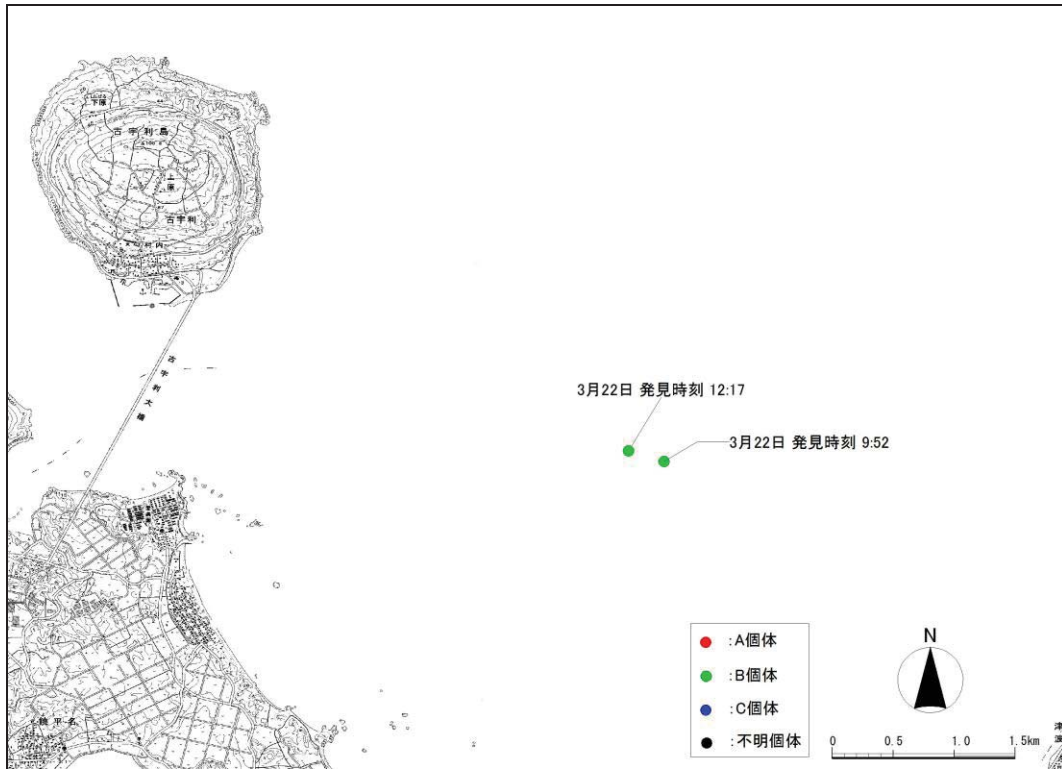


図-6.7.2.2(3) ヘリコプターからの監視におけるジュゴン確認位置図  
(平成 29 年 3 月 古宇利島沖)

## 6.8 海域生物（トカゲハゼ）

トカゲハゼの調査結果を表-6.8.1.1に、出現状況を図-6.8.1.1に示します。

当該海域におけるトカゲハゼの生息場所は、大浦湾奥部（大浦川河口干潟及び二見地区地先干潟）であり、今回の調査では成魚は二見地区地先干潟で 12 個体が確認されましたが、大浦川河口干潟では確認されませんでした。幼稚魚は両地区ともに確認されませんでした。

表-6.8.1.1 トカゲハゼ調査結果

調査時期：平成 29 年 2 月 15 日

項目		二見地区 地先干潟	大浦川 河口干潟
成魚	個体数	12	0
	生息面積(m <sup>2</sup> )	約 280	—
	体長(mm)	約 80~100	—
幼稚魚	個体数	0	0
	生息面積(m <sup>2</sup> )	—	—
	体長(mm)	—	—

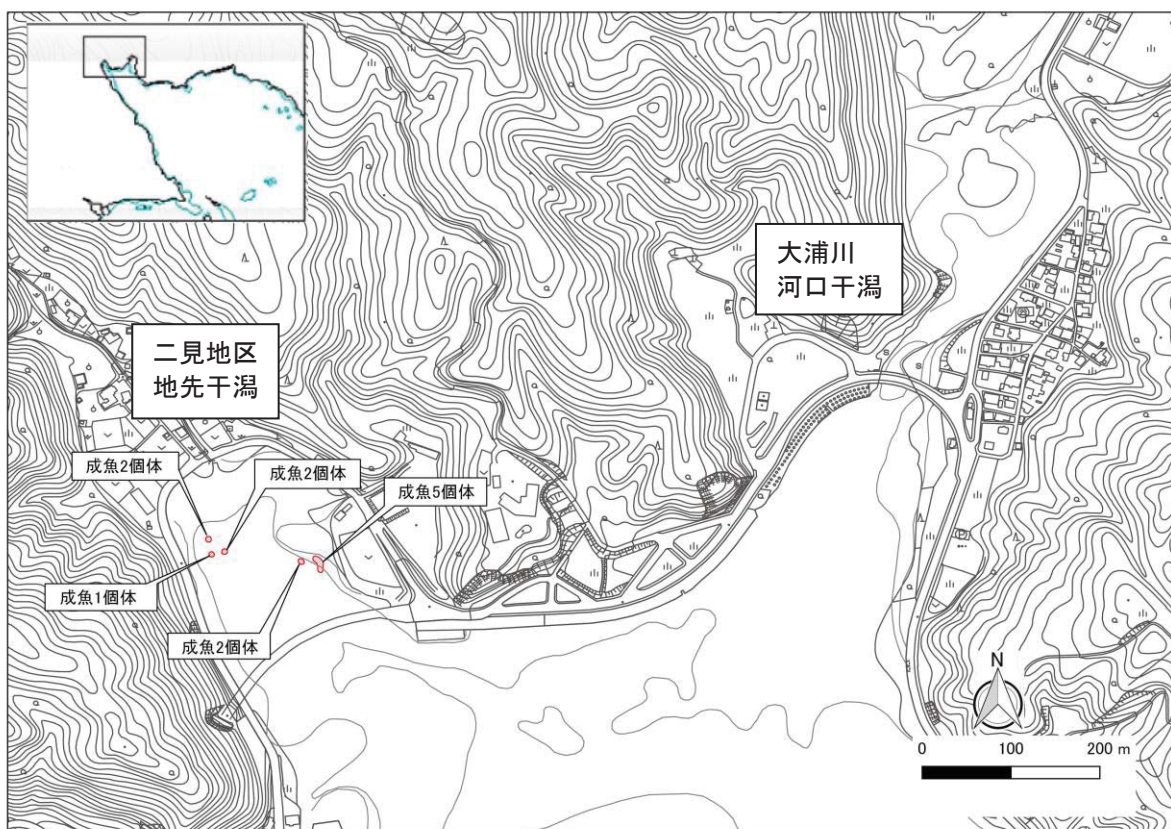


図-6.8.1.1 トカゲハゼの確認位置（平成 29 年 2 月 15 日調査）



## 6.9 陸域動物（陸生動物）

### 6.9.1 鳥類の営巣状況

改変区域及びその周辺における鳥類の繁殖状況を把握するため、工事中の平成28年冬季に現地調査を実施しました。

改変区域及びその周辺で確認された鳥類の繁殖状況を表-6.9.1.1に、その確認位置を図-6.9.1.1に示しました。

工事中の平成28年冬季において、改変区域及びその周辺での鳥類の営巣等の繁殖状況の確認はありませんでした。

表-6.9.1.1 改変区域及びその周辺における鳥類の繁殖状況

平成28年度冬季(工事中)
確認なし

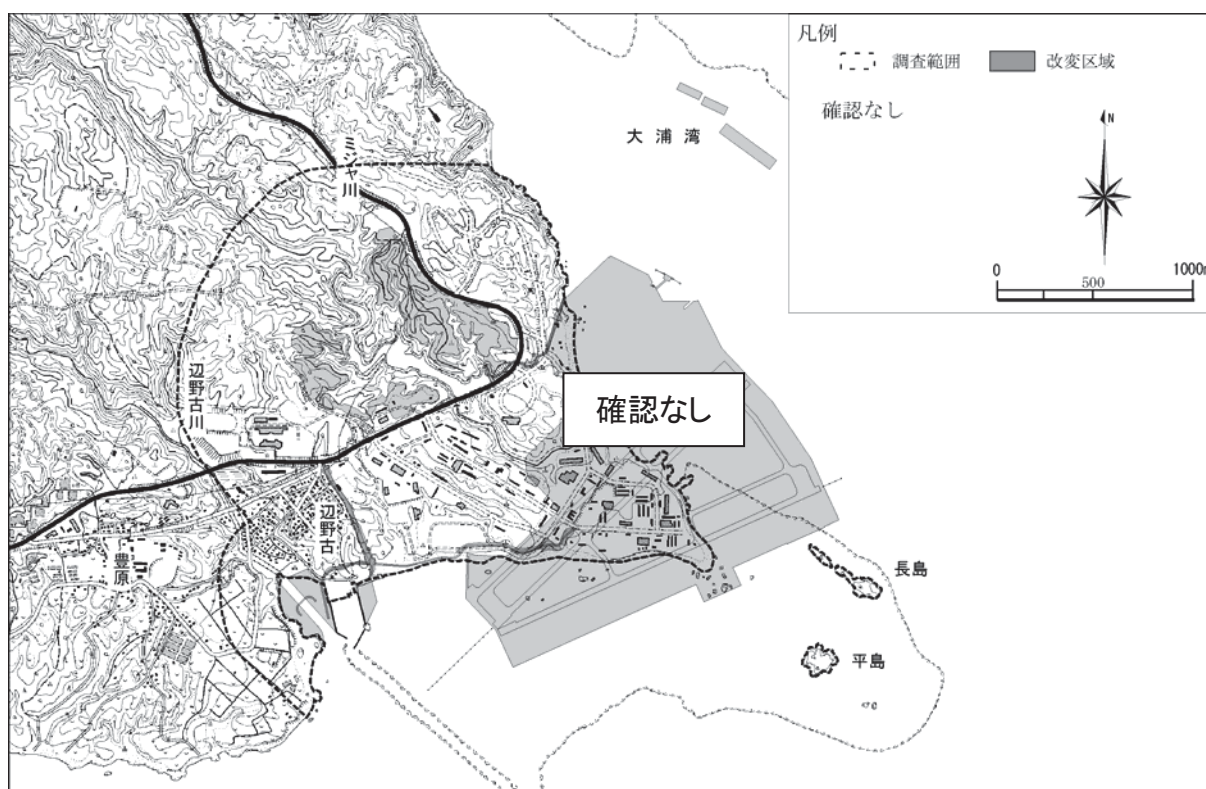


図-6.9.1.1 改変区域及びその周辺における鳥類繁殖確認位置(平成28年度冬季)

## 6.10 陸域生態系(基盤環境、生態系の機能と構造)

調査地域の陸域生態系における基盤環境や生態系の機能と構造に対する、工事の実施に伴う影響を把握するため、陸上における動物相の現地調査を実施しました。

### 6.10.1 動物相の状況

現地調査結果を項目毎に以下に示しました。

なお確認種の一覧は資料編に示しました。

#### (1) 哺乳類調査

ライン調査、定点調査の集計結果を表-6.10.1.1に示しました。

哺乳類はライン調査で6種、定点調査で4種の計5目8科9種が確認されました。

表-6.10.1.1 哺乳類調査の集計結果

区分	平成28年度		
	冬季		
	目	科	種
ライン調査	4	5	6
定点調査	2	4	4
合計	5	8	9



## (2) 鳥類調査

定点調査、ラインセンサス調査、任意調査の集計結果を表-6.10.1.2に、飛翔高度調査の結果を表-6.10.1.3に示しました。

鳥類は定点調査で 32 種、ラインセンサス調査で 34 種、任意調査で 61 種の計 12 目 29 科 62 種が確認されました。

飛翔高度調査では、7種が確認されており、全て高度0～10mで確認されました。

表-6.10.1.2 鳥類調査の集計結果

区分	平成28年度		
	冬季		
	目	科	種
定点調査	9	21	32
ラインセンサス調査	9	21	34
任意調査	12	29	61
合計	12	29	62

表-6.10.1.3 飛翔高度調査結果

調査季	No.	和名	高度								合計		
			0～10m		10～20m		20～50m		50～100m		100m～		
			記録数	個体数	記録数	個体数	記録数	個体数	記録数	個体数	記録数	個体数	
平成28年度 冬季	1	ムナグロ	2	58								2	58
	2	ダイゼン	1	19								1	19
	3	セグロカモメ	1	1								1	1
	4	ミサゴ	2	2								2	2
	5	カワセミ	1	1								1	1
	6	ウグイス	1	1								1	1
	7	イソヒヨドリ	8	12								8	12
	合計：記録数／個体数			16	94	0	0	0	0	0	0	0	16
割合 (%)			100.0		0.0		0.0		0.0		0.0		100.0

注) 1. 記録数は確認された飛翔記録数、個体数は合計個体数を示しました。

2. 割合 (%) は高度別の個体数比を示しました。

### (3) 両生類調査

ライン調査の集計結果を表-6.10.1.4に示しました。

両生類はライン調査で2目5科9種が確認されました。

表-6.10.1.4 両生類調査の集計結果

区分	平成28年度		
	冬季		
	目	科	種
ライン調査	2	5	9
合計	2	5	9

### (4) 爬虫類調査

ライン調査の集計結果を表-6.10.1.5に示しました。

爬虫類はライン調査で2目7科11種が確認されました。

表-6.10.1.5 爬虫類調査の集計結果

区分	平成28年度		
	冬季		
	目	科	種
ライン調査	2	7	11
合計	2	7	11

## (5) 昆虫類調査

ライン調査、ライトトラップ調査、ベイトトラップ調査、ツルグレン調査の集計結果を表-6.10.1.6に示しました。

昆虫類はライン調査で1,044種、ライトトラップ調査で138種、ベイトトラップ調査で88種、ツルグレン調査で49種の計21目258科1,112種が確認されました。

表-6.10.1.6 昆虫類調査の集計結果

区分	平成28年度		
	冬季		
	目	科	種
ライン調査	20	246	1,044
ライトトラップ調査	9	57	138
ベイトトラップ調査	12	52	88
ツルグレン調査	9	32	49
合計	21	258	1,112



(6) クモ類調査

ライン調査、ツルグレン調査の集計結果を表-6.10.1.7に示しました。

クモ類はライン調査で146種、ツルグレン調査で4種の計1目34科146種が確認されました。

表-6.10.1.7 クモ類調査の集計結果

区分	平成28年度		
	冬季		
	目	科	種
ライン調査	1	34	146
ツルグレン調査	1	2	4
合計	1	34	146

(7) 陸産貝類調査

ライン調査、ツルグレン調査の集計結果を表-6.10.1.8に示しました。

陸産貝類はライン調査で69種、ツルグレン調査で1種の計5目25科69種が確認されました。

表-6.10.1.8 陸産貝類調査の集計結果

区分	平成28年度		
	冬季		
	目	科	種
ライン調査	5	25	69
ツルグレン調査	1	1	1
合計	5	25	69

(8) オカヤドカリ類・オカガニ類調査

ライン調査の集計結果を表-6.10.1.9に示しました。

オカヤドカリ類・オカガニ類はライン調査で1目2科3種が確認されました。

表-6.10.1.9 オカヤドカリ類・オカガニ類調査の集計結果

区分	平成28年度		
	冬季		
	目	科	種
ライン調査	1	2	3
合計	1	2	3

(9) その他（多足類）調査

ツルグレン調査において確認されたその他の分類群として、ヤスデ類やムカデ類等の多足類を表-6.10.1.10に示しました。

多足類はツルグレン調査で7目8科11種が確認されました。

表-6.10.1.10 その他（多足類）調査の集計結果

区分	平成28年度		
	冬季		
	目	科	種
ツルグレン調査	7	8	11
合計	7	8	11

(10) 水生動物調査

水生動物の分類群別の集計結果を表-6.10.1.11に、河川別の集計結果を表-6.10.1.12に示しました。

水生動物は魚類 103 種、甲殻類 132 種、貝類 119 種、昆虫類（水生昆虫類） 138 種、底生動物（その他の分類群） 23 種の計 53 目 185 科 515 種が確認されました。

また、河川別では汀間川で 312 種、大浦川で 326 種、美謝川で 132 種、辺野古川で 177 種、久志大川で 229 種、松田慶武原川で 150 種、キャンプ・シュワブ内で 139 種が確認されました。

表-6.10.1.11 水生動物調査の集計結果

分類群	平成28年度		
	冬季		
	目	科	種
魚類	12	30	103
甲殻類	5	39	132
貝類	13	41	119
昆虫類 (水生昆虫類)	10	60	138
底生動物 (その他の分類群)	13	15	23
合計	53	185	515

表-6.10.1.12 水生動物調査の河川別集計結果

		河川名						
		汀間川	大浦川	美謝川	辺野古川	久志大川	松田慶武原川	キャンプ・シュワブ内
分類群	魚類	68	74	19	40	40	23	16
	甲殻類	90	92	28	51	80	54	17
	貝類	68	81	19	32	60	41	18
	昆虫類(水生昆虫類)	68	65	63	48	48	31	86
	底生動物(その他の分類群)	18	14	3	6	1	1	2
合計		312	326	132	177	229	150	139



## (11) 重要な種

現地調査の結果、確認された重要な種を表-6. 10. 1. 13に示しました。

確認された重要な種は、哺乳類 5 種、鳥類 16 種、両生類 4 種、爬虫類 4 種、昆虫類 26 種、クモ類 2 種、陸産貝類 18 種、オカヤドカリ類・オカガニ類 5 種、多足類 1 種、魚類 20 種、甲殻類 21 種、貝類 63 種の合計 185 種でした。

環境省レッドリスト記載種は 132 種、沖縄県レッドデータブック記載種は 118 種、法的規制種は 9 種でした。法的規制種のうち天然記念物は 8 種(名護市指定はオキナワコキクガシラコウモリ、沖縄県指定はイボイモリ、コノハチョウの計 2 種、国指定はカラスバト、オカヤドカリ、ムラサキオカヤドカリ、ナキオカヤドカリ、コムラサキオカヤドカリの計 5 種)、種の保存法による希少野生動植物指定種は種(国内希少野生動植物種のハヤブサ、イボイモリ、国際希少野生動植物種のメダイチドリ)でした。

各分類群の重要な種の分布状況概要を図-6. 10. 1. 1に示しました。

### 【選定基準及びカテゴリー区分】

●天然記念物：「文化財保護法」並びに「沖縄県、名護市の文化財保護条例」（出典資料：「平成 28 年度文化財課要覧」（平成 28 年 12 月、沖縄県））により国、沖縄県、名護市により指定。凡例は以下のとおり。

特天 →国指定特別天然記念物 国天 →国指定天然記念物 県天 →県指定天然記念物  
名護市天 →名護市指定天然記念物

●種の保存法：「絶滅の恐れのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成 28 年 12 月政令第 377 号）により指定。凡例は以下のとおり。

国内 →国内希少野生動植物種 国際 →国際希少野生動植物種 緊急 →緊急指定種

●環境省 RL：「報道発表資料 環境省レッドリスト 2015 の公表について、環境省 平成 27 年 9 月 15 日」に記載。凡例は以下の【カテゴリー】参照。

●沖縄県 RDB：以下の各種レッドデータブックに記載。凡例は以下の【カテゴリー】参照。

「改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物(動物編)-レッドデータおきなわ-」（平成 17 年 9 月、沖縄県）

「改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物(菌類編・植物編)-レッドデータおきなわ-」（平成 18 年 3 月、沖縄県）

#### 【カテゴリー】

CR+EN →絶滅危惧 I 類(絶滅の危機に瀕しているもの)

CR →絶滅危惧 IA 類(ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの)

EN →絶滅危惧 IB 類(IA ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの)

VU →絶滅危惧 II 類(絶滅の危険性が増大しているもの)

NT →準絶滅危惧(存続基盤が脆弱なもの)

DD →情報不足(評価するだけの情報が不足しているもの)

LP →絶滅のおそれのある地域個体群(地域的に孤立しており、地域レベルでの絶滅のおそれが高い個体群)

表-6. 10. 1. 13(1) 重要な種一覧

区分	番号	科名	和名	学名	カテゴリー区分		
					環境省 R L	沖縄県 R D B	その他
哺乳類	1	トガリネズミ	ワタセジネズミ	<i>Crocidura horsfieldi watasei</i>	NT	NT	
	2		ジャコウネズミ	<i>Suncus murinus</i>		DD	
	3	オオコウモリ	オリイオオコウモリ	<i>Pteropus dasymallus inopinatus</i>		NT	
	4	キクガシラコウモリ	オキナワコキクガシラコウモリ	<i>Rhinolophus pumilus pumilus</i>	EN	EN	名護市天
	5	イノシシ	リュウキュウイノシシ	<i>Sus riukiuanus</i>		DD	
小計:5種					2種	5種	1種
鳥類	1	ハト	カラスバト	<i>Columba janthina</i>	NT	VU	国天
	2	サギ	リュウキュウヨシゴイ	<i>Ixobrychus cinnamomeus</i>		NT	
	3	クイナ	オオバン	<i>Dulica atra atra</i>		NT	
	4	チドリ	シロチドリ	<i>Charadrius alexandrinus</i>	VU	NT	
	5		メダイチドリ	<i>Charadrius mongolus</i>			国際
	6	シギ	タカブシギ	<i>Tringa glareola</i>	VU		
	7	ミサゴ	ミサゴ	<i>Pandion haliaetus</i>	NT	VU	
	8	タカ	サシバ	<i>Butastur indicus</i>	VU		
	9	フクロウ	オオコノハズク(リュウキュウオオコノハズク)	<i>Otus lempiji (O.L.pryeri)</i>	VU	VU	
	10		コノハズク(リュウキュウコノハズク)	<i>Otus elegans (Otus e.elegans)</i>		NT	
	11		アオバズク(リュウキュウアオバズク)	<i>Ninox scutulata (N.s.totogo)</i>		NT	
	12	カワセミ	カワセミ	<i>Alcedo atthis</i>		NT	
	13	キツツキ	コゲラ(リュウキュウコゲラ)	<i>Dendrocopos kizuki (D.k.nigrescens)</i>		NT	
	14	ハヤブサ	ハヤブサ	<i>Dalco peregrinus</i>	VU	VU	国内
	15	サンショウクイ	サンショウクイ(リュウキュウサンショウクイ)	<i>Pericrocotus divaricatus (P.d. igimae)</i>	VU	NT	
	16	シジュウカラ	ヤマガラ(アマミヤマガラ)	<i>Poecile varius (P.v.amamii)</i>		NT	
小計:16種					8種	13種	3種
両生類	1	イモリ	イボイモリ	<i>Echinotriton andersoni</i>	VU	VU	国内、県天
	2		シリケンイモリ	<i>Cynops ensicauda</i>	NT	NT	
	3	アマガエル	ハロウエルアマガエル	<i>Hyla hallowellii</i>		NT	
	4	アカガエル	リュウキュウアカガエル	<i>Rana ulma</i>	NT	NT	
小計:4種					3種	4種	1種
爬虫類	1	イシガメ	ヤエヤマイシガメ	<i>Mauremys mutica kami</i>		NT	
	2	ヤモリ	オキナワヤモリ	<i>Gekko sp.</i>	NT		
	3	キノボリトカゲ	オキナワキノボリトカゲ	<i>Japalura polygonata polygonata</i>	VU	VU	
	4	トカゲ	オキナワトカゲ	<i>Plestiodon marginatus marginatus</i>	VU	NT	
小計:4種					3種	3種	0種
昆虫類	1	ヤマイトトンボ	オキナワトゲオトンボ	<i>Rhipidolestes okinawanus</i>		NT	
	2	イトトンボ	ヒメイトトンボ	<i>Agriocnemis pygmaea</i>	NT	DD	
	3	サナエトンボ	オキナワサナエ	<i>Asiagomphus amamiensis okinawanus</i>	NT	NT	
	4		オキナワオジロサナエ	<i>Stylogomphus ryukyuanus asatoi</i>		NT	
	5	オニヤンマ	カラスヤンマ	<i>Chlorogomphus brunneus brunneus</i>		NT	
	6	エソトンボ	オキナワコヤマトンボ	<i>Macromia kubokaiya</i>	NT	NT	
	7	マダラゴキブリ	マダラゴキブリ	<i>Rhabdoblatta guttigera</i>		NT	
	8	オオゴキブリ	リュウキュウクチキゴキブリ	<i>Salganea taiwanensis ryukyuanus</i>		NT	
	9	ホラアナゴキブリ	ホラアナゴキブリ	<i>Nocticola uenoi uenoi</i>		DD	
	10	カマドウマ	ズングリウマ	<i>Rhaphidophora taiwana</i>		DD	
	11	キリギリス	コバネササキリ	<i>Conocephalus japonicus</i>		DD	
	12	ヒバリモドキ	ウスモンナギサスズ	<i>Caconemobius takarai</i>		NT	
	13	ゲンバユウカ	タイワンハウチワウンカ	<i>Trypetimorpha biermani</i>		NT	
	14	タイコウチ	ヒメミズカマキリ	<i>Ranatra unicolor</i>		NT	
	15	マツモムシ	オキナワマツモムシ	<i>Notonecta montandoni</i>	NT	NT	
	16	サシガメ	ハイイロイボサシガメ	<i>Coranus spiniscutis</i>	NT		
	17	ハンミョウ	オキナワシロヘリハンミョウ	<i>Callytron yuasai okinawaense</i>	NT		
	18	ゲンゴロウ	フタキボシケシゲンゴロウ	<i>Allopachria bimaculata</i>	NT		
	19		コマルケシゲンゴロウ	<i>Hydrovatus acuminatus</i>	NT		
	20		マルケシゲンゴロウ	<i>Hydrovatus subtilis</i>	NT		
	21	ミズスマシ	オオミズスマシ	<i>Dineutus orientalis</i>	NT		
	22	ガムシ	クロシオガムシ	<i>Horelophopsis hanseni</i>	NT		
	23		オキナワマルチビガムシ	<i>Pelthydrus okinawanus</i>	DD		
	24	カ	オオハマハマダラカ	<i>Anopheles sapersoi</i>	NT		
	25	シジミチョウ	イワカワシジミ	<i>Artipe eryx okinawana</i>	NT		
	26	タテハチョウ	コノハチョウ	<i>Kallima inachus eucerca</i>	NT	NT	県天
小計:26種					15種	16種	1種

表-6. 10. 1. 13 (2) 重要な種一覧

区分	番号	科名	和名	学名	カテゴリー区分		
					環境省 R L	沖縄県 R D B	その他
クモ類	1	ハラフシグモ	キムラグモ類	<i>Heptathela</i> (s. lat.) spp.	VU		
	2	トタテグモ	キノボリトタテグモ	<i>Conothele Dragaria</i>	NT		
小計: 2種					2種	0種	0種
陸産貝類	1	ゴマオカタニシ	フクダゴマオカタニシ	<i>Georissa hukudai</i>	NT	NT	
	2	ヤマタニシ	アオミオカタニシ	<i>Leptopoma nitidum</i>	NT		
	3		ケハダヤマトガイ	<i>Japonia barbata</i>	NT		
	4	ゴマガイ	リュウキュウゴマガイ	<i>Diplommatina luchuana</i>	VU	VU	
	5		オオシマゴマガイ	<i>Diplommatina oshimae</i>	VU		
	6	ケシガイ	ナガケシガイ	<i>Carychium cymatoplax</i>	NT	NT	
	7		ケシガイ	<i>Carychium pessimum</i>	NT		
	8	ノミガイ	ノミガイ	<i>Tornatellides boeningi</i>	VU		
	9	スナガイ	スナガイ	<i>Gastrocopta armigerella</i>	NT		
	10	キセルガイ	キンチャクギセル	<i>Luchuphaedusa calliostochila</i>	VU	VU	
	11		サカツキノミギセル	<i>Selenoptyx inversiluna</i>	CR+EN	VU	
	12	カサマイマイ	オオカサマイマイ	<i>Videna horiomphala</i>	NT		
	13	ベッコウマイマイ	ヒメカサキビ	<i>Trochochlamys subcrenulata</i>	NT		
	14		マルキビ	<i>Parakaliella bimalis</i>	DD		
	15		ベッコウマイマイ	<i>Bekkochlamys perfragilis</i>	DD		
	16	ナンバンマイマイ	オキナワヤマタカマイマイ	<i>Luchuhadra largillierti</i>	VU	VU	
	17	オナジマイマイ	ウロコケマイマイ	<i>Aegista lepidophora</i>	CR+EN	EN	
	18		イトマンケマイマイ	<i>Aegista scepasma</i>	VU	VU	
小計: 18種					18種	8種	0種
オカヤドカリ・オカガニ類	1	オカヤドカリ	オカヤドカリ	<i>Coenobita cavipes</i>			国天
	2		ムラサキオカヤドカリ	<i>Coenobita purpureus</i>			国天
	3		ナキオカヤドカリ	<i>Coenobita rugosus</i>			国天
	4		コムラサキオカヤドカリ	<i>Coenobita violascens</i>	NT	NT	国天
	5	オカガニ	ヤエヤマヒメオカガニ	<i>Epigrapsus politus</i>		NT	
小計: 5種					1種	2種	4種
多足類	1	ヒモヤスデ	リュウキュウヤハズヤスデ	<i>Glyphiulus septentrionalis</i>		DD	
小計: 1種					0種	1種	0種
魚類	1	ウツボ	コゲウツボ	<i>Uropterygius concolor</i>	CR		
	2	アユ	リュウキュウアユ	<i>Plecoglossus altivelis ryukyuensis</i>	CR	EX	
	3	タウナギ	タウナギ属の一種	<i>Monopterus</i> sp.	CR	EN	
	4	ヨウジウオ	アミメカワヨウジ	<i>Hippichthys heptagonus</i>	EN		
	5	メダカ	ミナミメダカ	<i>Oryzias latipes</i>	VU	CR	
	6	カワアナゴ	オウギハゼ	<i>Bunaka gyrinoides</i>	NT	DD	
	7		タナゴモドキ	<i>Hypseleotris cyprinoides</i>	EN	EN	
	8		タメトモハゼ	<i>Ophieleotris</i> sp.1	EN	EN	
	9		ホシマダラハゼ	<i>Ophiocara porocephala</i>	VU		
	10	ハゼ	カブキハゼ	<i>Calamiana mindora</i>	NT		
	11		アサガラハゼ	<i>Caragobius urolepis</i>	VU		
	12		ヒゲワラスボ	<i>Trypauchenopsis intermedia</i>	VU		
	13		ヨロイボウズハゼ	<i>Lentipes armatus</i>	CR	CR	
	14		アカボウズハゼ	<i>Sicyopus zosterophorum</i>	CR	CR	
	15		ミナミヒメミズハゼ	<i>Luciogobius ryukyuensis</i>	VU	NT	
	16		スタレウロハゼ	<i>Glossogobius circumspectus</i>	NT		
	17		カワクモハゼ	<i>Bathygobius</i> sp.	CR		
	18		ニセシラスイハゼ	<i>Silhouettea</i> sp.	NT		
	19		マングローブゴマハゼ	<i>Pandaka lidwilli</i>	VU		
	20	フグ	クサフグ	<i>Takifugu niphobles</i>	LP	LP	
小計: 20種					20種	10種	0種



表-6. 10. 1. 13 (3) 重要な種一覧

区分	番号	科名	和名	学名	カテゴリー区分		
					環境省 R L	沖縄県 R D B	その他
甲殻類	1	ヌマエビ	ミナミオニヌマエビ	<i>Atyoida pilipes</i>	NT	NT	
	2	テナガエビ	スベスベテナガエビ	<i>Macrobrachium equidens</i>		NT	
	3		オオテナガエビ	<i>Macrobrachium grandimanus</i>		NT	
	4		ネットタイテナガエビ	<i>Macrobrachium placidulum</i>	VU	NT	
	5	コブシガニ	イリオモテマメコブシガニ	<i>Philyra iriomotensis</i>	DD	VU	
	6		マンガルマメコブシガニ	<i>Philyra nishihirai</i>		NT	
	7	ヤワラガニ	オキナワヤワラガニ	<i>Neorynchoplax okinawaensis</i>		VU	
	8	ワタリガニ	ツノナシイボガザミ	<i>Portunus brockii</i>	DD		
	9	サワガニ	アラモトサワガニ	<i>Geothelphusa aramotoi</i>	VU	NT	
	10	ムツハリアケガニ	カワスナガニ	<i>Deiratonotus japonicus</i>	NT	NT	
	11		ヨウナシカワスナガニ	<i>Paramoguai pyriforma</i>	NT	VU	
	12		ミナミムツハリアケガニ	<i>Takedellus ambonensis</i>		VU	
	13	オサガニ	チゴイワガニ	<i>Ilyograpsus nodulosus</i>		NT	
	14	ベンケイガニ	ヒメアシハラガニモドキ	<i>Neosarmatium indicum</i>		NT	
	15		ミゾテアシハラガニ	<i>Sarmatium striaticarpus</i>		NT	
	16		アシナガベンケイガニ	<i>Sesarmoides kraussi</i>		NT	
	17	モクスガニ	オキナワヒライソガニ	<i>Gaetice unguatus</i>	NT		
	18		トゲアシヒライソガニモドキ	<i>Parapyxidognathus deianira</i>		VU	
	19		コウナガイワガニモドキ	<i>Pseudograpsus elongatus</i>		NT	
	20		アゴヒロカワガニ	<i>Ptychognathus altimanus</i>		NT	
	21		ヒラモクスガニ	<i>Utica borneensis</i>		NT	
小計:21種					8種	19種	0種
貝類	1	アマオブネガイ	コウモリカノコ	<i>Neripteron auriculata</i>	NT		
	2		キジビキカノコ	<i>Neripteron spiralis</i>	NT	NT	
	3		ツバサカノコ	<i>Neripteron subauriculata</i>	NT	VU	
	4		フリソデカノコ	<i>Neripteron sp.B</i>	NT		
	5		ニセヒロクチカノコ	<i>Neritina siquijorensis</i>	NT		
	6		アカグチカノコ	<i>Neritina petiti</i>	NT	VU	
	7		カバクチカノコ	<i>Neritina pulligera</i>		NT	
	8		クリグチカノコ	<i>Neritina squamaepicta</i>		NT	
	9		シマカノコ	<i>Neritina turrita</i>	NT	NT	
	10		ムラクモカノコ	<i>Neritina variegata</i>		NT	
	11		ウスベニツバサカノコ	<i>Neritina sp.B</i>	NT		
	12	コハクカノコガイ	ツブコハクカノコ	<i>Neritilia vulgaris</i>	NT		
	13	フネアマガイ	ベッコウフネアマガイ	<i>Septaria lineata</i>	NT	DD	
	14	ユキスズメガイ	ミヤコドリ	<i>Phenacolepas pulchella</i>	NT		
	15	オニノツノガイ	コゲツノブエ	<i>Cerithium coralium</i>	VU	NT	
	16		カヤノミカニモリ	<i>Clypeomorus bifasciata</i>	NT	NT	
	17		セムシツノブエ	<i>Clypeomorus irrorata</i>		LP	
	18		ミツカドカニモリ	<i>Clypeomorus pellucida</i>		NT	
	19	カワグチツボ	マンガルツボ	<i>Iravadia quadrasi</i>	NT	NT	
	20	トウガタカワニナ	ヌノメカワニナ	<i>Melanoides tuberculatus</i>	NT		
	21		ネジヒダカワニナ	<i>Sermyla riqueti</i>	NT		
	22		アマミカワニナ	<i>Stenomelania costellaris</i>	CR+EN	CR	
	23		ムチカワニナ	<i>Stenomelania crenulatus</i>	CR+EN	DD	
	24		イボアヤカワニナ	<i>Tarebia granifera</i>	NT		
	25	フトヘナタリ	ヘナタリ	<i>Cerithidea cingulata</i>	NT	NT	
	26		カワアイ	<i>Cerithidea diadjariensis</i>	VU	NT	
	27		フトヘナタリ(イトカケヘナタリ)	<i>Cerithidea rhizophorum morchii</i>	NT		
	28		マドモチウミニナ	<i>Terebralia sulcata</i>	VU	NT	
	29	タマキビ	イロタマキビ	<i>Littoraria pallescens</i>	NT	NT	
	30	カワザンショウガイ	オイランカワザンショウ	<i>Assimineidae gen. A &amp; sp.</i>	NT		
	31	ミズゴマツボ	オキナワミズゴマツボ	<i>Stenothyra basiangularata</i>	NT		
	32	ムシロガイ	カニノテムシロ	<i>Pliacularia bellula</i>	NT	NT	
	33	トウガタガイ	アンバルクチキレ	<i>Colsyrnola hanzawai</i>	NT		
	34	イソアワモチ	ゴマセンベアワモチ	<i>Platevindex sp.B</i>	NT		

表-6. 10. 1. 13 (4) 重要な種一覧

区分	番号	科名	和名	学名	カテゴリー区分			
					環境省 R L	沖縄県 R D B	その他	
貝類 つづき	35	オカミミガイ	コハクオカミミガイ	<i>Ellobium incrassatum</i>	CR+EN	EN		
	36		カタシノミミミガイ	<i>Cassidula crassiuscula</i>	NT			
	37		ウラシマミミガイ	<i>Cassidula mustelina</i>	NT			
	38		シノミミミガイ	<i>Cassidula plecotrematoides japonica</i>	CR+EN			
	39		シュジュコミミガイ	<i>Laemodonta minuta</i>	NT			
	40		クリイロコミミガイ	<i>Laemodonta siamensis</i>	VU			
	41		ヘソアキコミミガイ	<i>Laemodonta typica</i>	NT			
	42		キヌメハマシノミガイ(トリコハマシノミガイ)	<i>Melampus sulculosus</i>	NT	NT		
	43		ヒメヒラシノミガイ	<i>Pythia nana</i>	NT			
	44		クロヒラシノミガイ	<i>Pythia pachydon</i>	NT			
	45		ヒラマキガイ	ヒラマキミズマイマイ	<i>Gyraulus chinensis spirillus</i>	DD	NT	
	46			トウキョウヒラマキガイ	<i>Gyraulus tokyoensis</i>	DD	VU	
	47			ヒラマキガイモドキ	<i>Polypylis hemisphaerula</i>	NT	NT	
	48		カワコザラガイ	カワコザラガイ属の一種	<i>Laevapex</i> sp.		NT	
	49	チドリマスオガイ	イソハマグリ	<i>Atactodea striata</i>	NT			
	50		クチバガイ	<i>Coecella chinensis</i>	NT	NT		
	51		ナミノコマスオ	<i>Dovila plana</i>		NT		
	52	ニッコウガイ	トガリユウシオガイ	<i>Moerella culter</i>	NT	EN		
	53		リュウキュウザクラ	<i>Moerella philippinarum</i>	NT	LP		
	54		ミガキヒメザラ	<i>Pinguitellina pinguis</i>		NT		
	55		ヌノメイチョウシラトリ	<i>Serratina capsoides</i>	NT			
	56	フジノハナガイ	リュウキュウナミノコ	<i>Donax faba</i>	NT			
	57		ハザクラガイ	<i>Gari minor</i>	NT	NT		
	58		アシベマスオ	<i>Soletellina petalina</i>	DD			
	59	シジミ	タイワンヒルギシジミ	<i>Geloina fissidens</i>	VU	NT		
	60	マメシジミ	マメシジミ属の一種	<i>Pisidium</i> sp.		VU		
	61	ドブシジミ	オキナワドブシジミ	<i>Sphaerium okinawaense</i>		NT		
	62	マルスダレガイ	ヤエヤマスダレ	<i>Katebysia hiantina</i>		NT		
	63		イオウハマグリ	<i>Pitar sulfreum</i>	VU	NT		
	小計: 63種					52種	37種	0種
	合計: 185種					132種	118種	10種

注) 1. 本表の昆虫類 9 種、陸産貝類 7 種、オカヤドカリ類・オカガニ類 2 種の計 18 種は、昆虫類(水生昆虫類)、貝類、甲殻類と重複します。一覧表や総計ではこれらの重複した情報は除外しましたが、確認位置図については重複を除外せずに各区分に記載しています。

区分	和名	カテゴリー区分		
		環境省RL	沖縄県RDB	その他
昆虫類 (水生昆虫類)	オキナワトゲオトンボ		NT	
	ヒメイトンボ	NT	DD	
	オキナワサナエ	NT	NT	
	オキナワオジロサナエ		NT	
	オキナワコヤマトンボ	NT	NT	
	マダラゴキブリ		NT	
	フタキボシケシゲンゴロウ	NT		
	オオミズスマシ	NT		
	オキナワマルチビガムシ	DD		
9種	6種	6種	0種	
陸産貝類 (貝類)	オイランカワザンショウ	NT		
	カタシノミミミガイ	NT		
	ウラシマミミガイ	NT		
	ヘソアキコミミガイ	NT		
	キヌメハマシノミガイ(トリコハマシノミガイ)	NT	NT	
	ヒメヒラシノミガイ	NT		
クロヒラシノミガイ	NT			
7種	7種	1種	0種	
オカヤドカリ類 ・オカガニ類(甲殻類)	ムラサキオカヤドカリ			国天
	ヤエヤマヒメオカガニ		NT	
2種	0種	1種	1種	
計:18種	13種	8種	1種	

- 鳥類の和名については、渡り鳥として一時飛来個体と留鳥個体が混在する可能性がある種の野外での識別は容易ではないことから、種名に加え亜種名を( )内に併記しました。併記した亜種名については、「日本鳥類目録 改訂第7版」(平成24年9月、日本鳥学会)に従い、沖縄島で留鳥として生息する亜種もしくはその可能性が高い亜種としました。
- 沖縄島にはキムラグモ(*Heptathela*)属とオキナワキムラグモ(*Ryuthela*)属が分布していますが、巢の存在を確認したものであり、同定に至らなかったため、キムラグモ類としました。また、環境省レッドリストにおいては、キムラグモ(広義)/*Heptathela kimurai* sensu lato、オキナワキムラグモ(広義)/*Ryuthela nishihirai* sensu lato として共に“VU”で記載されることから、本リストでもキムラグモ類を“VU”として扱いました。



※重要な種の保護の観点から、表示していません。

※重要な種の保護の観点から、表示していません。

図-6.10.1.1(1) 重要な種の確認位置(哺乳類、鳥類)

※重要な種の保護の観点から、表示していません。

※重要な種の保護の観点から、表示していません。

図-6.10.1.1(2) 重要な種の確認位置(両生類、爬虫類)

※重要な種の保護の観点から、表示していません。

※重要な種の保護の観点から、表示していません。

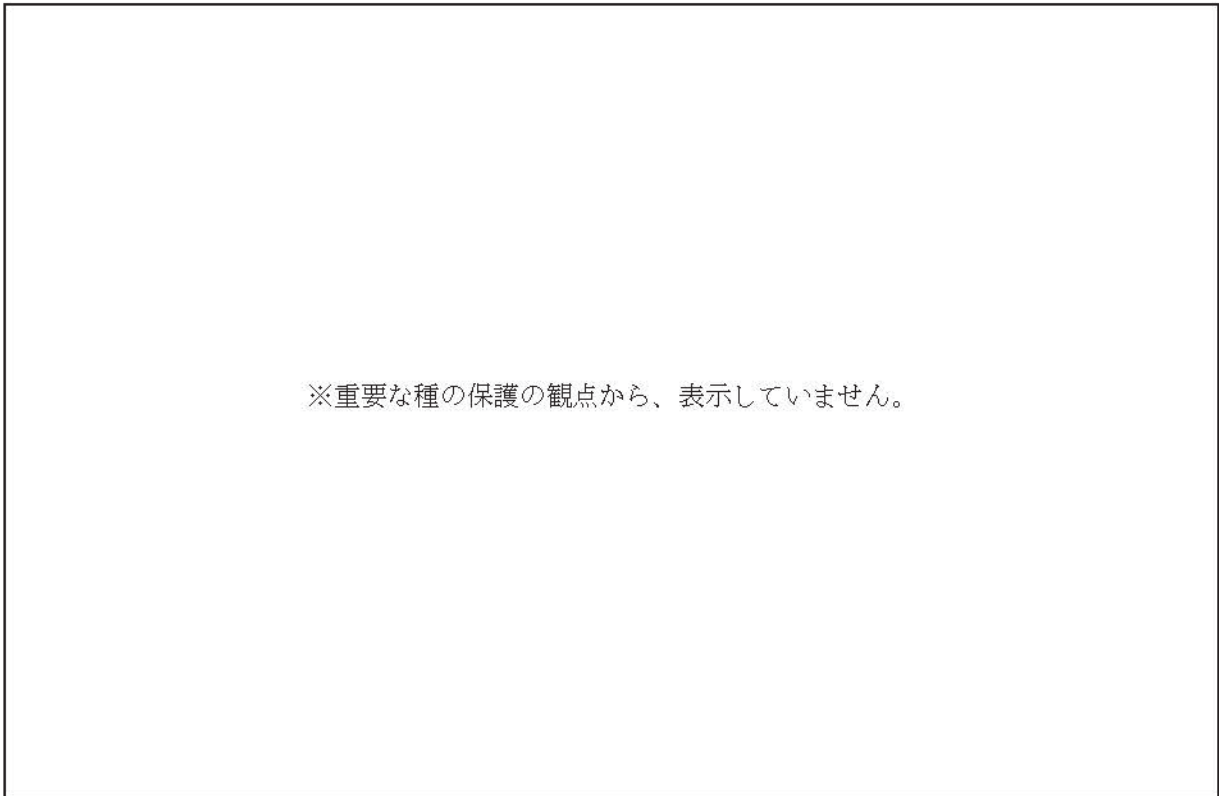
図-6.10.1.1(3) 重要な種の確認位置(陸生昆虫類、クモ類)



※重要な種の保護の観点から、表示していません。

※重要な種の保護の観点から、表示していません。

図-6.10.1.1(4) 重要な種の確認位置(陸産貝類、オカヤドカリ類・オカガニ類)



※重要な種の保護の観点から、表示していません。



※重要な種の保護の観点から、表示していません。

図-6.10.1.1(5) 重要な種の確認位置(多足類、魚類)

※重要な種の保護の観点から、表示していません。

※重要な種の保護の観点から、表示していません。

図-6.10.1.1(6) 重要な種の確認位置(甲殻類、貝類)

※重要な種の保護の観点から、表示していません。

図-6.10.1.1(7) 重要な種の確認位置(水生昆虫類)



## 6.11 陸域生態系(地域を特徴づける注目種)

### 6.11.1 ミサゴ、シロチドリの生息・繁殖状況

#### (1) ミサゴ

ミサゴ調査における確認状況を表-6.11.1.1に、その確認位置を図-6.11.1.1に示しました。

「改訂版 沖縄の野鳥」(沖縄野鳥研究会、平成22年5月)によると、ミサゴは調査地域では冬鳥とされています。冬季に実施した本調査においても延べ47個体が確認されました。個体は調査範囲全域で確認され、主な採餌場所は、大浦区から弾薬庫地区にかけて、辺野古区から松田区にかけての沿岸域や河川河口域でした。

なお、営巣や交尾といった繁殖に関する行動は確認されませんでした。

表-6.11.1.1 ミサゴの確認状況

調査時期	のべ確認数		推定 個体数	特記すべき行動							
	年齢	性別		止まり	鳴き声	採餌 ・採餌等	攻撃	対象	被攻撃	対象	ねぐら
平成29年2月 (冬季)	成鳥40 不明7	雄9 雌17 不明21	成鳥雄4 成鳥雌5 成鳥不明2 不明雌1 不明1	28	1	10	1	・ミサゴ	1	・ミサゴ	

※重要な種の保護の観点から、表示していません。

図-6.11.1.1 ミサゴ確認位置(平成28年度冬季)

## (2) シロチドリ

シロチドリの確認状況を表-6.11.1.2に、その確認位置を図-6.11.1.2に示しました。

シロチドリについて、瀬嵩区、久志区から前原区にかけての砂浜で、計365個体の生息が確認されました。

なお、営巣や交尾といった繁殖に関する行動は確認されませんでした。

表-6.11.1.2 シロチドリの確認状況

調査月		生息確認 個体数	繁殖確認 個体数	繁殖確認 地点	繁殖関連行動		
					擬傷	卵	雛
平成28年度	2017年1月	161					
	2月	204					
合計		365	0	0	0	0	

※重要な種の保護の観点から、表示していません。

図-6.11.1.1.2 シロチドリの確認位置(平成28年度冬季)



### 6.11.2 オカヤドカリ類・オカガニ類の移動

工事区域内で捕獲されたオカヤドカリ類の個体数を表-6.11.2.1に示しました。

捕獲された種はオカヤドカリ、ムラサキオカヤドカリ、ナキオカヤドカリの3種その他、微小で同定できない個体でした。なお、オカガニ類は捕獲されませんでした。

平成29年3月に捕獲された総個体数は311個体で、内訳はオカヤドカリ1個体、ムラサキオカヤドカリ41個体、ナキオカヤドカリ180個体、小型個体89個体でした。捕獲個体のうちナキオカヤドカリが60%近くを占めました。

捕獲したこれらの個体は、松田区の移動先No.147に29個体、No.149に282個体を移動しました。そのうち殻長又は殻幅が3cm以上の15個体(オカヤドカリ1個体、ムラサキオカヤドカリ6個体、ナキオカヤドカリ8個体)はマーキング(個体識別番号)をつけて移動しました。

表-6.11.2.1 移動元のオカヤドカリ類捕獲個体数(平成29年3月)

捕獲場所	オカヤドカリ	ムラサキ オカヤドカリ	ナキ オカヤドカリ	オカヤドカリ 類※	オカガニ類	合計
3cm以上 (マーキング個体)	1	6	8			15
3cm未満		35	172	89		296
合計	1	41	180	89	0	311

表-6.11.2.2 オカヤドカリ類の場所別移動個体数(平成29年3月)

移動先	オカヤドカリ	ムラサキ オカヤドカリ	ナキ オカヤドカリ	オカヤドカリ 類※	合計
147		7	21	1	29
149	1	34	159	88	282
合計	1	41	180	89	311

※微少なため同定できない個体